

文化財 せんだい



No. 107

平成25年(2013年)11月発行
仙台市教育委員会文化財課
仙台市青葉区一番町4-1-25
東二番丁スクエア3階
〒980-0811 Tel.022-214-8893

国宝「慶長遣欧使節関係資料」 ユネスコ記憶遺産に登録決定!

ユネスコ記憶遺産に推薦されていた仙台市博物館所蔵の慶長遣欧使節関係資料が、平成25年6月に登録物件として決定しました。今回認定された「支倉常長像」「ローマ教皇パウロ五世像」「ローマ市公民権証書」の3点は、ユネスコ記憶遺産の基準を満たし、登録にふさわしいと評価を受けたものです。

ユネスコ記憶遺産とは、世界のドキュメント遺産を保存し利用することによってそれらを保護・促進することを目的として1992年に始められた事業です。登録物件は2年毎に開催される国際諮問委員会で審議され、ユネスコ事務局長により決定されます。



はせくらつねながぞう
「支倉常長像」

形質：麻布油彩
大きさ：縦 80.8 cm 横 64.5 cm
年代：1615年頃
指定：国宝

ロザリオを持つ支倉常長が、十字架上のキリストに祈りをささげる姿の画像。実在の日本の侍を描いた最古の本格的な油絵肖像画である。本図の制作地は、常長が洗礼を受けたスペイン、あるいは教皇パウロ5世に謁見したローマのいずれかであろうが確定できない。帰国後も本図は支倉家に保管されたが、息子常頼の代に支倉家が断絶となったため藩に没収され、江戸時代を通じて藩の切支丹所に保管されてきた。国宝(慶長遣欧使節関係資料)。



ローマ教皇パウロ五世像

支倉常長がサン・ピエトロ宮で拝謁(はいえつ)したローマ教皇パウロ5世の肖像画である。常長が帰国後、直接伊達政宗へ献納した資料の一つである。国宝(慶長遣欧使節関係資料)。



ローマ市公民権証書

ローマ市議会が支倉常長に与えた証書である。正式に公民権を与えるとともに、常長を貴族に列するという内容が羊皮紙(ようひし)に金泥を用いて記されている。ローマ市公民権証書は使節一行の他の7人にも与えられたが、現存するのは本資料だけである。国宝(慶長遣欧使節関係資料)。



慶長遣欧使節
とは何?

今からおよそ400年前の江戸時代初め、仙台藩の侍、支倉六右衛門常長が藩主伊達政宗の命令で太平洋と大西洋を渡りスペイン、ローマへ向かいました。常長が率いたこの使節は慶長18年(1613)に日本を出発したため「慶長遣欧使節」と呼ばれています。

使節の目的は、スペイン国王に会いメキシコとの直接貿易の許可を得ること及びローマ教皇に会い仙台領内での布教のため宣教師の派遣を要請することでした。



ハナちゃん

発掘体験!

仙台市縄文の森広場

(山田上ノ台遺跡内)



ナワメくん

文化財課では、平成 18 年度に遺跡活用の場としてオープンした「仙台市縄文の森広場」の敷地内で継続して発掘調査を行っています。

毎年秋季に調査をしていますが、それに並行して一般の方が気軽に参加できる発掘体験教室も実施しており、今年も多くの方に参加していただきました。約 4000 年前の縄文土器や石器などを取り上げた瞬間、皆さん思わず驚きと興奮の声を上げていました。



左の写真の道具(移植べら・竹べら・プラスチックの箕)などを使って作業します。土器や石器を傷つけないように、慎重に掘り進めていきます。皆さん真剣です!



掘った土は、フルイにかけます。すると、掘っている時には気付かなかった土器や石器が網の上に残り姿を現します。

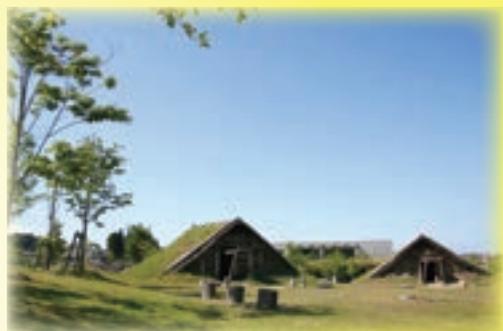


「仙台市縄文の森広場」 ってどんなところ?

約 4 千年前の大きな縄文ムラであった山田上ノ台遺跡を保存し活用するための施設です。

ガイダンス施設(有料)では、縄文時代の生活の様子をムラの復元模型などで展示するほか、山田上ノ台遺跡を中心とした出土遺物の展示を行っています。野外の広場(無料)には、屋根に土をふいた縄文時代の竪穴住居(たてあなじゅうきょ)を 3 軒復元し、周りにはクリなどの広葉樹で縄文時代の植生を再現しています。

さらに、さまざまな体験活動メニューを準備しており、土器・石器づくりや編布(あんぎん)づくりなどを通じて縄文人の暮らしを実体験できます。



所在地

〒982-0815
宮城県仙台市太白区
山田上ノ台町 10 番 1 号

お問合せ

【TEL】 022-307-5665
【FAX】 022-743-6771



史跡地を花で いっぱい

文化財課では、国史跡「陸奥国分寺跡」や同じく国史跡「仙台郡山官衙遺跡群」の史跡地内の美化活動を通して、市内の遺跡や文化財に親しみをもちてもらおう活動を続けています。毎年近隣の小学校のみなさんが活動に参加しています。

陸奥国分寺跡にアサガオのカーテン —連坊小路小学校・南小泉小学校—

6月下旬から7月上旬にかけて、連坊小路小学校の6年生と南小泉小学校の3年生の皆さんがアサガオの苗をフェンス際に植えました。薬師堂バス停北側のフェンスです。

アサガオはぐんぐん伸びてフェンスに巻きつき、青や紫、白の美しい花を咲かせました。今年は例年より長い期間咲き、通る人の目を和ませていました。



涼しげなアサガオの花がいっぱい咲きました



郡山遺跡に^{れんげもん}蓮華文の花壇を作ろう —東長町小学校・八本松小学校—

郡山遺跡内には昔お寺がありました。そこに葺かれた瓦には蓮の花の模様(蓮華文)が見て取れます。



7月上旬、郡山遺跡を象徴するこの蓮華文を模した花壇を、東長町小学校の6年生の皆さんと八本松小学校6年生の皆さんが作りました。

植えたときは小さかった花の苗も8月に入ると大きく生長し、美しい花壇が出来上がりました。



蓮の花の模様(蓮華文)のような美しい花壇になりました

いにしえ
古の木造建築を訪ねて
～門を味わう～



① 荘厳寺山門〈青葉区新坂町〉

寛文事件で知られる仙台藩家老 原田甲斐宗輔の片平丁にあった屋敷門を移築したものと伝えられ、逆臣の門ということで「逆さ門」とも呼ばれていました。平成5～6年の解体修理工事の際、柱材の上下を逆さに、左右の位置を交換して立て直した門であることが判明しました。



③ 陸奥国分寺薬師堂仁王門〈若林区木ノ下〉

この仁王門は、伊達政宗による慶長12年(1607)薬師堂創建時の建立とされていますが、それよりさかのぼる可能性もあります。

仁王は、寺院守護の神として山門等に安置する一対の金剛力士で、口を開けた阿形と口を閉じた吽形とに作られています。



門は、その前を通る者、あるいはそこをくぐる者を何百年も見守ってきた。人々の想いを受け止めながら今もお建ち続ける、門。
あなたは門から何を感じ取るのだろうか。



② 宮城県知事公館正門〈青葉区広瀬町〉

この門は仙台城の城門の一つと伝えられ、大正時代に第二師団長官舎の正門として移築されました。どこの城門であったかは未だ不明ですが、仙台城寅の門(中の門)を移築したとの説もあります。

扉は移築時に新しく付けられ、鯨は昭和46年に修復された際に載せられたものです。



④ 泰心院山門〈若林区南鍛冶町〉

この山門は、もともとは勾当台にあった仙台藩藩校養賢堂の正門でした。養賢堂が明治維新後に県庁舎に充てられ、正門が洋門風に置き換えられた際に、現在地に移建されました。

養賢堂は、講堂など諸建築が戦災で焼失したため、この門が唯一の遺構となっています。